

## ○成果

- ・授業改善や学力向上への取組（教材研究や学習形態の工夫など）については、児童アンケートと保護者アンケートの結果から肯定意見が多く、一定の成果が見られる。
- ・重点目標の一つである「一人ひとりの思いや願いを認め合い、高め合う集団づくりを推進し、豊かな人間関係を育む心の教育と特別支援教育の充実を図る」ことの達成に向けては、学級での係活動や縦割り班での掃除などを通して取組を進めており、児童アンケートの結果や全校的に落ち着いた学校生活の状況から成果が見られる。また、保護者アンケートの結果から、児童同士の温かい人間関係の構築や豊かな人間性の育成について、7月実施の結果よりも5ポイント高くなっており、全校的に取り組んでいる成果が現れている。
- ・「あいさつ」については、児童アンケートの結果から児童の意識は高く、校内での生活を見るとあいさつをする児童が多いと感じられ、児童会を中心とした取組により、成果が現れていると考えられる。また、保護者アンケートの結果からも、あいさつ運動など基本的な生活習慣に関する継続的な指導の成果が現れていると考えられる。地域の方のアンケートの結果からは、自分から先にあいさつができない児童も、スクールガードの方をはじめとする地域の方々から声をかけていただくことであいさつを交わすことができ、成果が現れていると考えられる。
- ・「交通安全に気をつけている」という設問に対して、児童アンケートの結果は肯定意見が多いことから、スクールガードの方をはじめとする地域の方々や保護者の方々のご協力により、児童が安心して安全に登下校できると感じており、成果として現れている。学校でも、全校や学年、学級において、危険予測の学習を行うなど、児童に対する具体的な指導を継続しており、成果が現れている。また、保護者アンケートと地域の方のアンケートの結果から、スクールガードをはじめとする地域の方々や保護者の方々との連携・協力が進んでいることの成果が現れていると考えられる。
- ・「先生は、困ったときにすぐに相談にのってくれたり、対応してくれたりする」という設問では、教職員が日々の声かけや相談等に迅速に対応していることで、児童アンケートの結果から取組の成果が現れている。
- ・地域とともにある学校づくりについては、地域の方のアンケートの結果から、学校に協力しようと思ってくれる地域の方々が多くおられ、「コミュニティ・スクール」や「あったかネット」などの取組に対して理解をいただき、成果が現れている。
- ・各種便りなどを通じて学校や学年、学級等の様子や情報を発信していることについては、保護者アンケートや地域の方のアンケートの結果から、成果として現れている。また、学校の様子に大変高い関心を寄せていただいていることが伺える。

## ●課題と今後の取組

- ・授業改善や学力向上への取組については、児童アンケート・保護者アンケートともに一定の成果は見られるものの、否定的な意見をもっている児童や保護者も見られる。新型コロナウイルス感染予防を行いながらの取組になるが、ペア学習やグループ学習といった学習形態を取り入れながらすべての児童が主体的に授業に参加し、主体的で対話的な深い学びができるよう、さらに授業改善に取り組んでいく。
- ・家庭学習に関する設問の結果から、多くの児童が宿題や自主学習に毎日取り組んでいる反面、家庭学習に取り組めていない児童がまだ一定数見られる。今後も、家庭学習の意味や学習習慣を身につけていくことの大切さを粘り強く指導していく必要がある。また、保護者アンケートの結果からも、保護者が期待する家庭学習の習慣を身につけることが課題として現れている。「川下小学校学習の手引き」の活用を通して保護者の方と協力していく。
- ・「学校は、道徳の授業や話し合い活動などで児童の豊かな心を育てたり、アンケートと相談活動を行ったりして、いじめの根絶に取り組んでいる」については、保護者アンケートの結果では、肯定意見が5ポイント高くなり、学校の取組が届き始めたことが伺える。「学校は、学級通信や学年だより、学校だより、メール配信など、積極的な情報発信に努めている」の結果について、これまで同様、肯定的な意見が多いことから、全校や学年等の取組を伝えるための各種便りや学校ホームページ等の充実を継続して図っていく。
- ・「あいさつ」に関する設問では、肯定的な意見が多く見られるものの、地域の方と児童や保護者の結果とは、まだまだ認識の違いが見られる。今後も、子どもたちが地域の方々と「自分から」「明るく」「元気に」「大きな声で」あいさつができるよう、家庭の協力を得ながら、指導を継続していく。
- ・「安心して学校生活を送ることができる」については、児童アンケートの結果において成果は見られるが、7月の結果同様、否定的な意見をもっている児童も見られる。児童の感じる不安に寄り添えるように、組織的な相談体制を充実していく。
- ・「児童は、登下校中に交通安全に気をつけている」については、地域の方のアンケートの結果から成果は見られているものの、危険を感じられた方もおられる。今後も学校では、保護者や地域の方とも連携しながら、全校や学年・各クラスにおいて児童への安全指導を継続していく。